

埼玉県の概要

埼玉県は関東平野の内部に位置する内陸県で、1都6県に接し、面積は約3800km²、人口は約720万人で平成22年国勢調査では全国第5位。63市町村(40市22町1村)から構成され、10の2次医療圏に、がん診療連携拠点病院が13か所と県指定のがん診療指定病院が13か所となっています。75歳以上の人口が総人口に占める割合は8.2%で年々増加はしていますが、全国47位で最も低い割合です。本県は、首都東京に隣接し、様々な情報に接する機会に恵まれ、発達した公共交通機関や道路網を持つという都市の魅力と、水と緑に恵まれた田園の魅力を併せ持っています。

埼玉県がん登録の歴史

本県の地域がん登録事業は、平成23年9月より一部の医療機関を対象に開始し、平成24年1月から県内のすべての医療機関を対象にしました。平成24年9月から標準データベースへの入力を行っています。また、平成26年2月に、登録室を県庁内から新しい県立がんセンターへ移しております。そして、平成26年度から遡り調査を実施し、平成27年度に初めてMCIJにデータを提出、平成28年3月に初めての報告書「埼玉県のがん2012」を発行することができました。

現在の登録室の体制は、常勤は医師1名(病院業務と併任)、保健師1名、非常勤に看護師1名、保健師1名、臨時職員4人/日となっております。



埼玉県立がんセンター



埼玉県のマスコット コバトン



現状と課題

登録室が県立がんセンター内に移設されたことで、セキュリティを始め、空調設備、職員食堂等、働く環境として非常に良好になりました。地下にある登録室ですが、窓もあり空模様も確認することができます。日々の仕事は和気あいあいと、とても楽しく進められています。



埼玉県がん登録室の様子

本県の都道府県がん診療連携拠点病院に登録室が移ったことから、院内がん登録部門との連携も図りやすくなり、がん診療連携協議会の院内がん登録部会と共同開催でがん登録に関する研修会を実施することもできるようになりました。2012年の年齢調整罹患率を部位別に見ると、ほぼすべての部位で全国推計値より低い値になりました。本県の特徴として、東京都へのアクセスの良さから都内の医療機関を受診する患者がとて多いことがあげられ、そのため登録漏れが多くなり、見かけ上低くなっている可能性が考えられます。全国がん登録になり、患者の正確な受診が把握可能になり、埼玉県のがん罹患の実態が明らかになると期待しています。

埼玉県

埼玉県保健医療部疾病対策課

Saitama

登録室ご紹介